

(2) 政策的医療に関する評価チェックシート

評価の定義

- 期待どおり又は期待以上
- △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地有り
- × 事業の実施に支障有り。或いは法令違反有り。

評価項目	事業計画書の内容	評価対象事項	令和元年度の実績	自己評価	自己評価分析	市評価	評価所見																																																																																							
①救急医療	<p>あま市唯一の二次救急病院として、救急医療の提供に取り組みます。近隣の消防署と連携を深め、また、脳出血や心筋梗塞等の緊急に人命に関わる疾患等は、名古屋第一赤十字病院等の高次の医療機関へ適正に搬送するなど、地域の中核病院としての役割を担ってまいります。また、平日の日中は救急担当医を配置し、診療所、施設等からの救急患者の受入れを積極的に行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td></td><td>目標値</td></tr> <tr><td>救急患者数</td><td>3,000人</td></tr> <tr><td>救急搬送数</td><td>1,000件</td></tr> </table>		目標値	救急患者数	3,000人	救急搬送数	1,000件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急患者数</li> <li>・救急搬送件数</li> </ul>	<p>令和元年度は、指定管理開始であったことから4月の救急搬送件数は66件でしたが、院内の体制整備を図ったことにより、令和元年度の月平均は、92.5件（H30年度 47件）となり、平成30年度より549件増加しました。また、救急搬送以外の救急患者に対しても、月平均174件（H30年度 118件）の受入れを行い、平成30年度より685件増加しました。</p> <p>また、救急患者のうち、入院加療が必要な患者は、約4割であり、地域の救急告示医療機関としての役割を果たしていると考えます。</p> <p>あま市唯一の救急告示病院として、救急医療の提供に取り組むため、近隣の消防署と症例検討会等の勉強会の開催を通じて、連携を深めた結果、平成30年度より大幅な救急搬送件数の受入れに結び付いたと考えます。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td></td><td>実績値</td></tr> <tr><td>救急患者数</td><td>3,205人</td></tr> <tr><td>救急搬送数</td><td>1,110件</td></tr> </table>		実績値	救急患者数	3,205人	救急搬送数	1,110件	○	<p>救急医療においては、総合診療科を中心に幅広い疾患への対応を図ったため、救急搬送件数は、あま市運営時及び目標値より上回った結果となりました。引き続き、近隣の消防署等との連携強化を図り、救急告示病院としての役割に努めて参ります。</p>	○	<p>救急患者数、救急搬送件数ともに、計画を上回っている。また、あま市直営時の平成30年度の救急患者数1,972人、搬送件数561件であり、大きく上回る実績となっており、市民病院の信頼度アップに大きく貢献できていると考える。</p>																																																																											
	目標値																																																																																													
救急患者数	3,000人																																																																																													
救急搬送数	1,000件																																																																																													
	実績値																																																																																													
救急患者数	3,205人																																																																																													
救急搬送数	1,110件																																																																																													
②小児医療	<p>総合診療医を中心とした地域ニーズに応じた小児医療を担ってまいります。月曜日から金曜日においては、小児科外来を設置し、風邪、発熱、下痢、嘔吐などの一般的な小児疾患からアレルギー疾患等の専門外来等も行い、地域の診療所からの受入れを積極的に行います。また、小児救急においても、総合診療医を中心に一次救急の役割を果たし、入院治療など必要な場合は近隣の医療機関と連携してまいります。なお、小児入院におきましては、関係職種と調整し、受入体制を検討してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td></td><td>目標値</td></tr> <tr><td>小児外来患者数</td><td>5,600人</td></tr> <tr><td>小児入院患者数</td><td>0人</td></tr> </table>		目標値	小児外来患者数	5,600人	小児入院患者数	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者数</li> </ul>	<p>令和元年度は、総合診療科を中心とした体制に変更し、小児救急の時間外・救急搬送の受入れを積極的に行った結果、平成30年度月20件に対し、令和元年度は、月平均39件となりました。</p> <p>また、月曜日から金曜日までは、非常勤医師を中心とした小児外来を設置し、風邪、発熱、下痢、嘔吐などの一般的な小児疾患からアレルギー疾患等の専門外来等も行い、地域の診療所からの受入れを積極的に実施いたしました。なお、小児入院におきましては、比較的軽度であり、自立している14歳の患者を2件受け入れました。今後は、関係職種と調整し、受入体制を検討してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td></td><td>実績値</td></tr> <tr><td>小児外来患者数</td><td>2,889人</td></tr> <tr><td>小児入院患者数</td><td>9人</td></tr> </table>		実績値	小児外来患者数	2,889人	小児入院患者数	9人	△	<p>常勤の小児科専門医は2名おりますが、総合診療科として業務をしているため、小児科外来は非常勤を中心とした体制としています。非常勤のため、各医師の診療が曜日により異なることもあり、患者が定着しなかったことが要因と考えます。さらに、新型コロナウイルス感染症に伴う影響もあり、2月の患者数と比較して4割減も影響していると考えます。</p> <p>ただし、総合診療科が、一般的な小児科疾患にも対応したことから、左記の実績値にはありませんが、小児救急の件数は増加しました。引き続き、小児医療の充実を図ります。</p>	△	<p>外来患者の実績が、目標値に対し51.6%であり、大きく下回っている。また、あま市直営時の平成30年度の小児科の外来患者数は、4,522人であり、1,633人の減となっている。</p>																																																																											
	目標値																																																																																													
小児外来患者数	5,600人																																																																																													
小児入院患者数	0人																																																																																													
	実績値																																																																																													
小児外来患者数	2,889人																																																																																													
小児入院患者数	9人																																																																																													
③リハビリテーション医療	<p>従来のリハビリテーション医療を継続しつつ、幅広い疾患に対応できるよう言語聴覚士を新たに3名採用し、脳血管疾患、言語機能障害等のリハビリを実施します。また、医師、看護師、管理栄養士とも連携し、摂食機能療法など多職種連携によるリハビリも実施します。入院におけるリハビリテーション医療においては、地域包括ケア病棟を中心に在宅復帰を目的としたリハビリテーションを提供し、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。なお、現在休棟している病棟を回復期リハビリテーション病棟とするため、関係職種と調整、準備してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td></td><td>目標値</td><td>備考</td></tr> <tr><td>運動器リハビリ</td><td>7,800単位</td><td>うち地域包括ケア病棟4,600単位</td></tr> <tr><td>脳血管疾患リハビリ</td><td>5,000単位</td><td>うち地域包括ケア病棟1,200単位</td></tr> <tr><td>廃用症候群リハビリ</td><td>26,000単位</td><td>うち地域包括ケア病棟1,000単位</td></tr> <tr><td>合計</td><td>38,800単位</td><td>うち地域包括ケア病棟6,800単位</td></tr> <tr><td>運動器リハビリ</td><td>1,500単位</td><td></td></tr> <tr><td>脳血管疾患リハビリ</td><td>240単位</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,740単位</td><td></td></tr> <tr><td>摂食機能療法</td><td>1,300回</td><td>うち地域包括ケア病棟600回</td></tr> </table>		目標値	備考	運動器リハビリ	7,800単位	うち地域包括ケア病棟4,600単位	脳血管疾患リハビリ	5,000単位	うち地域包括ケア病棟1,200単位	廃用症候群リハビリ	26,000単位	うち地域包括ケア病棟1,000単位	合計	38,800単位	うち地域包括ケア病棟6,800単位	運動器リハビリ	1,500単位		脳血管疾患リハビリ	240単位		合計	1,740単位		摂食機能療法	1,300回	うち地域包括ケア病棟600回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーション実施件数</li> </ul>	<p>地域包括ケア病棟の入院患者を中心としたリハビリテーション医療を提供しつつ、一般病棟の入院患者や外来患者に対して幅広くリハビリテーション医療を提供いたしました。</p> <p>また、令和2年度の回復期リハビリテーション病棟稼働に向けた、体制整備を図り、療士15名体制から30名体制に増員を図る予定となるため、さらに手厚いリハビリテーション医療が提供できると考えています。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td></td><td>一般病棟</td><td>地域包括ケア病棟</td><td>回復期リハ病棟</td><td>合計</td></tr> <tr><td>入院</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>運動器リハビリ</td><td>5,644単位</td><td>7,127単位</td><td>-</td><td>12,771単位</td></tr> <tr><td>脳血管疾患リハビリ</td><td>4,215単位</td><td>2,622単位</td><td>-</td><td>6,837単位</td></tr> <tr><td>廃用症候群リハビリ</td><td>15,658単位</td><td>10,288単位</td><td>-</td><td>25,946単位</td></tr> <tr><td>呼吸器リハビリ</td><td>178単位</td><td>1単位</td><td>-</td><td>179単位</td></tr> <tr><td>計</td><td>25,695単位</td><td>20,038単位</td><td>-</td><td>45,733単位</td></tr> <tr><td>外来</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>運動器リハビリ</td><td></td><td></td><td></td><td>2,016単位</td></tr> <tr><td>脳血管疾患リハビリ</td><td></td><td></td><td></td><td>226単位</td></tr> <tr><td>廃用症候群リハビリ</td><td></td><td></td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>摂食機能療法</td><td></td><td></td><td></td><td>1,971単位</td></tr> </table>		一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計	入院					運動器リハビリ	5,644単位	7,127単位	-	12,771単位	脳血管疾患リハビリ	4,215単位	2,622単位	-	6,837単位	廃用症候群リハビリ	15,658単位	10,288単位	-	25,946単位	呼吸器リハビリ	178単位	1単位	-	179単位	計	25,695単位	20,038単位	-	45,733単位	外来					運動器リハビリ				2,016単位	脳血管疾患リハビリ				226単位	廃用症候群リハビリ				-	摂食機能療法				1,971単位	○	<p>入院患者数の増加に伴い、リハビリテーション医療を提供する機会が増えたため、あま市運営時より単位数は増加いたしました。目標値におきましては、疾患別の単位数に差はあるものの、合計単位数は目標値を上回る結果となりました。</p> <p>その他、令和2年3月に呼吸器疾患リハビリテーション料の施設基準を取得し、さらに幅広い疾患に対するリハビリテーションを提供できる体制を構築いたしました。</p>	○	<p>目標値に対し、若干下回っている項目があるものの、全体的には、大きく上回っている。特に、運動器リハビリに関しては、入院、外来ともに目標値を大きく上回る実績を残している。令和2年度から回復期リハビリテーション病棟が開棟することから、更なる需要が期待できると思う。</p>
	目標値	備考																																																																																												
運動器リハビリ	7,800単位	うち地域包括ケア病棟4,600単位																																																																																												
脳血管疾患リハビリ	5,000単位	うち地域包括ケア病棟1,200単位																																																																																												
廃用症候群リハビリ	26,000単位	うち地域包括ケア病棟1,000単位																																																																																												
合計	38,800単位	うち地域包括ケア病棟6,800単位																																																																																												
運動器リハビリ	1,500単位																																																																																													
脳血管疾患リハビリ	240単位																																																																																													
合計	1,740単位																																																																																													
摂食機能療法	1,300回	うち地域包括ケア病棟600回																																																																																												
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計																																																																																										
入院																																																																																														
運動器リハビリ	5,644単位	7,127単位	-	12,771単位																																																																																										
脳血管疾患リハビリ	4,215単位	2,622単位	-	6,837単位																																																																																										
廃用症候群リハビリ	15,658単位	10,288単位	-	25,946単位																																																																																										
呼吸器リハビリ	178単位	1単位	-	179単位																																																																																										
計	25,695単位	20,038単位	-	45,733単位																																																																																										
外来																																																																																														
運動器リハビリ				2,016単位																																																																																										
脳血管疾患リハビリ				226単位																																																																																										
廃用症候群リハビリ				-																																																																																										
摂食機能療法				1,971単位																																																																																										

評価項目	事業計画書の内容	評価対象事項	令和元年度の実績	自己評価	自己評価分析	市評価	評価所見																														
④保健衛生事業	<p>子宮がん検診、乳がん検診、事業所検診等をはじめとし、個人健診や予防接種など幅広い保健衛生事業を実施いたします。また、ヘルスプロモーション事業として、糖尿病の健康教室などの公開健康講座等を開催し、市民の健康づくりに寄与します。その他にも、近隣施設、住民団体、消防署、市の保健衛生等を担当する部署と連携し、勉強会や地域の保健衛生活動を実施するなど、さらなる健康増進・維持、健康な地域づくりに取り組む予定としています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん・乳がん検診</td> <td>200人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業健診等</td> <td>1,800人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td>500人</td> <td>肺炎球菌、インフルエンザ等</td> </tr> </tbody> </table>		目標値	備考	子宮がん・乳がん検診	200人		企業健診等	1,800人		予防接種	500人	肺炎球菌、インフルエンザ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮がん、乳がん検診の実施件数</li> <li>・企業健診等の実施件数</li> <li>・予防接種の実施状況</li> </ul>	<p>子宮がん検診、乳がん検診、事業所健診等をはじめとし、個人健診や予防接種など幅広い保健衛生事業を実施いたしました。また、ヘルスプロモーション事業として、糖尿病の健康教室などの公開健康講座等を開催いたしました（年3回）。その他、5回の感染管理講座等を開催し、地域住民だけでなく、地域の施設、事業所等に対しても保健衛生活動を実施いたしました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん・乳がん検診</td> <td>263人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業健診等</td> <td>1,869人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td>1,012人</td> <td>肺炎球菌、インフルエンザ等</td> </tr> </tbody> </table>		実績値	備考	子宮がん・乳がん検診	263人		企業健診等	1,869人		予防接種	1,012人	肺炎球菌、インフルエンザ等	○	<p>各種がん検診、事業所健診においては、あま市運営時を引継ぎ実施いたしました。その他、事業所単位のワクチン接種なども可能な限り対応したことにより、目標値より実績値が上回ったと考えます。</p> <p>○ その他、ヘルスプロモーション事業として、地域住民、事業所に対して講座等を実施することができたため、市の保健衛生事業の一端を担うことができたと考えます。</p> <p>引き続き、市の保健師等と共同した事業に取り組んで参ります。</p>	○	<p>保健衛生事業として目標に掲げた、がん検診、企業健診、予防接種について、全て目標値を上回る実績を残すことができています。</p>						
	目標値	備考																																			
子宮がん・乳がん検診	200人																																				
企業健診等	1,800人																																				
予防接種	500人	肺炎球菌、インフルエンザ等																																			
	実績値	備考																																			
子宮がん・乳がん検診	263人																																				
企業健診等	1,869人																																				
予防接種	1,012人	肺炎球菌、インフルエンザ等																																			
⑤災害時医療	<p>あま市地域防災計画に基づき、地域の消防署、行政機関等の関連機関との連携を強化し、地域で災害が発生した際には、行政との連携のもと災害時救急患者の受入を積極的に対応できるよう必要な研修、訓練等を実施いたします。また、災害発生時に必要な救急用医薬品、医療材料、防災備品等を整備し、災害時における医療要員の参集体制などBCPマニュアルの策定を行います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頻度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害対策研修</td> <td>1回/年</td> <td>地域の総合防災訓練、災害時における医療提供体制に関する研修</td> </tr> <tr> <td>トリアージ</td> <td>適宜</td> <td>傷病者の受入れを速やかに行う訓練</td> </tr> <tr> <td>その他訓練・研修</td> <td>適宜</td> <td>その他災害時における訓練、研修等</td> </tr> </tbody> </table>		頻度	内容	災害対策研修	1回/年	地域の総合防災訓練、災害時における医療提供体制に関する研修	トリアージ	適宜	傷病者の受入れを速やかに行う訓練	その他訓練・研修	適宜	その他災害時における訓練、研修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等の実施状況</li> <li>・訓練の実施状況</li> </ul>	<p>あま市地域防災計画に基づき、地域の消防署、行政機関等の関連機関との連携を強化し、地域で災害が発生した際には、行政との連携のもと災害時救急患者の受入を積極的に対応できるよう院内訓練(年2回実施)や地域の合同訓練等を実施するほか、備蓄の見直し及び備蓄品の更新を行いました。なお、救急患者に対するトリアージ訓練、実施要項を作成し、令和元年8月より院内トリアージ実施料の施設基準を取得いたしました。</p> <p>また、3月に発生した新型コロナウイルス感染症に対して、院内の関係部署との対策会議を毎週開催し、BCPの策定、医療材料、備品等の管理、発熱者等の来院時の対応、保健所からの依頼に対する受入方法などを速やかに対応し、3月は22名のPCR検査の対応をいたしました。なお、医療材料等の購入が困難になった際には、あま市、大治町、近隣施設等よりご支援いただいたことで、対応できたものと考えており、感謝しております。今後も災害時等の緊急事態に備え、行政との連携を密にし、対応いたします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修等の名称</th> <th>実施日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災避難訓練</td> <td>9月・12月</td> <td>院内における防災訓練（日中及び夜間を想定した訓練を実施）</td> </tr> <tr> <td>院内トリアージ実施料</td> <td>8月届出</td> <td>来院後速やかにトリアージを実施する体制、経験を有する看護師等の配置</td> </tr> <tr> <td>海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練</td> <td>6月 8月</td> <td>地域の防災訓練への参加</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>患者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染疑い 対応患者数</td> <td>22人</td> <td>PCR検査実施者数 (保健所依頼患者含む)</td> </tr> </tbody> </table>	研修等の名称	実施日	備考	防災避難訓練	9月・12月	院内における防災訓練（日中及び夜間を想定した訓練を実施）	院内トリアージ実施料	8月届出	来院後速やかにトリアージを実施する体制、経験を有する看護師等の配置	海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	6月 8月	地域の防災訓練への参加		患者数	備考	新型コロナウイルス感染疑い 対応患者数	22人	PCR検査実施者数 (保健所依頼患者含む)	○	<p>法令で定められている訓練ならびに地域の防災訓練に参加するなど、災害時等に対応できる対策を図りました。</p> <p>○ また、新型コロナウイルス感染症に対しては、ICTを中心に院内の感染対策、保健所からの依頼に対する受入方法など速やかに実施したこともあり、院内感染の発生はない状況にあります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症における速やかな対応については、行政、地域のボランティア、企業等からの支援もあったからこそ、対応できたものと考えます。</p>	○	<p>災害時医療として目標に掲げた、各種訓練に関しては、しっかり行うことができました。</p> <p>○ また、年度末から増え始めた、新型コロナウイルス感染症に対する対応についても、災害ととらえ、関係機関と連携を取りながら、疑い患者に対する対応をしっかりと行い、市民の生命を守るための対応ができています。</p>
	頻度	内容																																			
災害対策研修	1回/年	地域の総合防災訓練、災害時における医療提供体制に関する研修																																			
トリアージ	適宜	傷病者の受入れを速やかに行う訓練																																			
その他訓練・研修	適宜	その他災害時における訓練、研修等																																			
研修等の名称	実施日	備考																																			
防災避難訓練	9月・12月	院内における防災訓練（日中及び夜間を想定した訓練を実施）																																			
院内トリアージ実施料	8月届出	来院後速やかにトリアージを実施する体制、経験を有する看護師等の配置																																			
海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	6月 8月	地域の防災訓練への参加																																			
	患者数	備考																																			
新型コロナウイルス感染疑い 対応患者数	22人	PCR検査実施者数 (保健所依頼患者含む)																																			